

学校関係者評価報告書

2022年7月13日 学校関係者評価

■実施日： 2022年7月13日

■場 所： 大村美容ファッション専門学校 理事長室

■学校関係者評価委員 <企業代表> 有限会社 KATSUKI 甲木 輝彦

株式会社ぼたんや 佐藤 安彦

津田産業株式会社 津田 鶴太郎

<卒業生代表> 有限会社 ダム 隈本 達也

<近隣代表> 黒門東部自治会 吉田二三男

<学校代表> 理事長 大村 陽之介

学校長 斉藤 ちづる

■評価項目の達成及び、取組状況

(1)教育理念・目標

評価項目	自己評価	関係者評価
<p>① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)</p> <p>② 学校における職業教育の特色は何か</p> <p>③ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか</p> <p>④ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか</p> <p>⑤ 各学科の教育目標、育成人材等は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか</p>	<p>【課題】</p> <p>本校の教育目標は「業界を牽引する人材を育成する」であり、このベースとしている教育理念は「一に人格 二に技術」です。</p> <p>この理念等の周知について、学生は新入生導入時研修を通じ、また、保護者に対しても、体験入学時の保護者会、新入生歓迎式、一年次保護者会などを通じて、ご理解いただくため徹底してきました。</p> <p>(ただし今年度は新入生歓迎式を短縮したため、保護者への周知が出来ていないので、その影響が出るかも知れません。)</p> <p>特に一年次では、毎日の授業を通じて理念の具体的な行動化を図り、二年次では、基本動作(挨拶・返事・時間を守る・整理・整頓・清掃・清潔・作法)に加え、自分らしさを表現できるようにしています。</p> <p>また教育理念等の考え方を明</p>	<p>・グローバルビジネス科に対して、近隣からのクレームは？</p> <p>→今のところ特にない。近隣側も時代に合わせて受け入れなければならないという意識はある。機会があれば、近隣の夏祭りにも参加頂き、日本の文化に触れてほしい。</p> <p>→喫煙率が高いので心配だったが今のところ問題なくて良かった</p> <p>・ハイパーQUIについて</p> <p>入学後すぐに実施している(入学段階のコンディション)</p> <p>学校生活に満足している学生が一番多い→専門学校の特性。自分のやりたいことを勉強したくて来ている学生が多い</p> <p>要支援群は、全国平均では33%。(オオムラは6%)</p> <p>先入観ではなく、学生の特性として注意深くみていく。結果、退学率を低減していきたい。</p> <p>・クラスの揉め事等はお子様から聞きますか</p>

	<p>記した学生便覧を入学時に学生に配布し徹底しています。</p> <p>2013年10月から学校関係者評価結果や事業報告・財務状況なども公開しました。これを引き続き継続中です。</p> <p>業界のニーズの把握については職業教育機関としてきわめて重要と考えています。特に教育課程編成委員会や外部講師等を通じ、また産学協同教育による機会を通じて、常に把握するように努めています。</p> <p>また、社会経済のニーズと学校の将来構想については、学校法人として極めて重要な課題と捉えています。</p> <p>少子化はいうまでもなく、本校の主力学科である美容分野については、美容師試験の受験者数(全国)で見ても、ピークの2004年には29,840名であったものが、2020年度は18,386名と、前年より800名ほど増加したものの11,454名も減少しており、学校法人として、この美容分野以外の学校又は学科の展開を考えないわけにはいきません。</p> <p>一方、高等教育機関と日本語教育機関に在籍する留学生は2008年には、123,829名だったものが2019年には312,214名と188,385名252.1%増加(昨年対比でも13,234名4.4%増加)しています。</p> <p>しかしながら2020年度は新型コロナウイルスの影響で渡航制限がかけられたことで279,597名の入国にとどまり、32,617名</p>	<p>→美容科は目的意識を持っている子が多いので充実している様。すごく真面目な学生生活を送っている学生が多い。人間関係のトラブルはないようだ。</p> <p>→担任が問題は小さい芽のうちに対処していく</p>
--	---	--

	<p>も減少してしまいました。</p> <p>2021 年度は更なる減少が見込まれるなど、先行きが見えない状況です。</p> <p>国内における労働力不足という社会状況・経済的ニーズを考える時、専修学校の使命として、留学生対策が求められるところだと認識しています。</p> <p>特に留学生の在籍が伸びている国はネパールとベトナムが顕著で、中国や韓国と違い、肌の色も言語も違う人々を受け入れるに当たっては、学校側としても、従来の学校運営のノウハウだけでなく、真にグローバルな運営が求められるところだと認識しています。</p> <p>【今後の改善方法】</p> <p>学校法人の総合力強化を図り、社会経済ニーズに対応する留学生対象の学科、の発展拡大、将来的には新学校の設立を図ります。</p> <p>他方、既存の日本人対象の学科においては、教育目標の達成へ向けて、特に実践教育において、学校内での実習や学外インターンシップの到達目標を明確化して、その段階的教育目標を定め、企業との連携の中で具体的能力取得を計画的に図ってまいります。</p> <p>2020 年度に引き続き、学生の行動資質判断材料としてのハイパーQU 試験などを活用し、学びに対する阻害要因の発見、解消を図ります。</p> <p>またこれも継続して、主体性を伸ばす教育手法(アクティブラー</p>	
--	---	--

	<p>ニング)を活用することによって、学びの楽しさを感じさせ、学生相互の学びの質の向上を図ります。</p> <p>キャリア教育について、特に入学後の早い段階から、各職業の業務の実態や必要な能力を十分理解させ、明確な目的意識を持たせた上で、一人ひとりのキャリア形成を支援していきます。</p> <p>学生には、キャリアプランニング能力や、課題対応力が求められるところですが、現状の学生の目的意識はまだまだ漠然とした状態であることも否認しません。</p> <p>そこで、2016 年度期中から、教職員のキャリア教育研究プロジェクトを立ち上げ、2020 年度も「キャリアデザイン」の授業改革・従来の就職指導研修から、キャリア教育研修への改革を目的として努力を継続しています。</p> <p>このプロジェクトの結果として、通年でのキャリア教育カリキュラムの始めに、自分自身を見直すために、教材「職業とキャリア」の活用や禅寺での座禅体験なども導入されています。</p> <p>【特記事項】</p> <p>計画については、監査法人・関連金融機関等にも周知しています。</p>	
--	--	--

評価項目	適切……4、ほぼ適切……3、やや不適切……2、不適
------	---------------------------

	切・・・1
⑥ 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 3 2 1
⑦ 学校における職業教育の特色は何か	4 3 2 1
⑧ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 2 1
⑨ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 3 2 1
⑩ 各学科の教育目標、育成人材等は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4 3 2 1

(2)学校運営

評価項目	自己評価	関係者評価
① 目的等に沿った運営方針が策定されているか	<p>【課題】</p> <p>運営方針については、各年度の事業計画として、学校・部門・学科まで策定しています。ただ運営方針に基づいた計画の精度については、部門、学科により問題意識や精度に於いて差があり、学校が目指す中期構想や当年度方針を、部門ごとどこまで緻密に計画し、PDCAサイクルを好循環させるかが課題です。</p> <p>意思決定機能は、組織的に、実質的に機能しています。評議員会・理事会を法人の意思決定機関として、学校においてはキャビネットを意思決定の最高機関とし、その下に課長会議・部門会議等を置いています。</p> <p>人事評価制度は2013年4月に制度確定し、改善を加えながら運用しています。上期下期に分割し、上司と部下が目標を共有化し、その遂行状況を面談しながら評価します。その結果を集約して、昇格昇給、賞与配分等を実施しています。</p>	<p>・人事、給与に関する規定が整備されている→1評価。今年度こそは改善する課題</p> <p>・コンプライアンス: 専門学校は情報公開をしていない学校も多い。</p> <p>・PCの台数等はそろえているが、今後はフリーwi-fiの整備が必要</p>
② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか		
③ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか		
④ 人事、給与に関する規程等は整備されているか		
⑤ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか		
⑥ 業界や地域社会等に関するコンプライアンス体制が整備されているか		
⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか		
⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか		

	<p>昨今の厳しい経営環境の中に於いても、この評価制度実施と昇給賞与配分は確実に行ってきました。</p> <p>しかし全教職員が適正な評価と給与を得ているとは思えませんし、今後も改定は必要だと認識しています。</p> <p>学校教育法並びに専修学校設置基準におけるコンプライアンスは常に遵守しています。</p> <p>業界・地域社会を交えたコンプライアンスについては、学校関係者評価につき、</p> <p>企業代表・近隣住民代表に参画いただいています。また情報の公開も WEB を通じて実施しています。</p> <p>情報システム化は、学生募集管理システム、在校生管理システム、経理システム、学費管理システム、就職情報管理システムとして効率化しています。</p> <p>次年度以降の課題は、個人情報の一元システム化です。</p> <p>現在のシステムでは、同一人物をバラバラにそれぞれのシステムが管理しており、入学前から卒業後までの横串管理ができる体制ではありません。</p> <p>システム開発費用との兼ね合いにはなりますが、将来的に改善したいところです。</p> <p>【今後の改善方法】</p> <p>ア. 人事関係各規程の整備。</p> <p>イ. 学校関係者評価継続実施</p> <p>ウ. 情報管理システム改訂への研究。</p>	
--	---	--

	【特記事項】 特になし。	
--	---------------------	--

評価項目	適切……4、ほぼ適切……3、 やや不適切……2、不適切……1
⑨ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1
⑩ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 3 2 1
⑪ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 3 2 1
⑫ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 3 2 1
⑬ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 2 1
⑭ 業界や地域社会等に関するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 2 1
⑮ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 3 2 1
⑯ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 2 1

(3)教育活動

評価項目	自己評価	関係者評価
① 教育理念に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか	<p>【課題】</p> <p>カリキュラムについては、2011年度より各教科課程のシラバスまで明文化し、学生便覧として在校生に配布・説明・周知徹底しています。</p> <p>また教育課程編成委員会を通じて、企業等の意見を反映して、企業ニーズを認識したものとしています。ただ資格取得のための教育時間の限定もあることから、必ずしも企業の求めるレベルに到達しにくい現実もあります。</p> <p>最近、特に企業側からは学生の個性の発露を求められるケースが増えています。職業教</p>	<p>・近年、企業様から学生の個性が少なくなったとご指摘を頂いている。販売ロールプレイングでも、決まりきったことしかしゃべらない。手を組む位置もみんな一緒。マニュアルとしての指導と個性を磨く教育のバランスはとても難しい。</p> <p>switch では、「いらっしやいませ」をあまり言わないようにしている。お迎えの気持ちは大事だが、ゲストに合わせての声かけの方がいいと考えるから。「おお！」「こんにちは！」「お久しぶりです！」など。型にはまり過ぎたものは、良くない。</p> <p>・グローバルビジネス科の就</p>
② 教育理念、育成人材等や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか		
③ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか		
④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されて		

<p>いるか</p> <p>⑤ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか</p> <p>⑥ 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか</p> <p>⑦ 授業評価の実施・評価体制はあるか</p> <p>⑧ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか</p> <p>⑨ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか</p> <p>⑩ 資格取得等に関する指導體制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか</p> <p>⑪ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</p> <p>⑫ 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか</p> <p>⑬ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか</p>	<p>育=戦力として役に立つ知識・技術でもあるので、最大限企業連携を図っていきます。</p> <p>ただ教育機関としては、企業様との交流を図り、企業様から求められる基礎能力をしっかりと身につけた上に、個性の発露を乗せたいと考えております。学生が素質として持っている個性を磨くことは大いに奨励したいが、企業現場では短絡的なクセは不要だと思うので、あくまで学生本人が努力として身につけた個性の発露を目指したいものです。</p> <p>産学連携のインターンシップについてはかねてより重視してきており、教育効果も高く、継続して実施しています。ほぼ既存学科では実施できる体制が取れました。今後も、その深耕を目指して、就職内定後の内定企業でのインターンシップを強化します。</p> <p>グローバルビジネス科については、2020年度期中でのインターン開始に向けてインターン企業の開拓が重要課題です。</p> <p>カリキュラムの体系化と、修業年限に対応する教育到達目標の明確化を図るために取得単位を明確にして、学生便覧に明記され、周知徹底しています。</p> <p>授業評価の方法として、各学年に各一回全学生対象・各クラス代表科目10科目の授業アンケートを実施しています。無記名、PCを使った入力で、匿名性に配慮し、なるべく実情の把握をできるようにしています。こ</p>	<p>職率50%を達成するためのインターンシップ先を開拓することが非常に大事。</p> <p>→企業的には非常におもしろいと思う。実体験を通じてそう思う。</p> <p>福岡の流通センターでは、技術系より営業系が欲しい。(もちろん最低限の技術は必要)グローバル系で、ロールプレイングの勉強をやっているのは、高評価。</p>
---	---	---

<p>⑭ 職員の能力開発のための研修等が行われているか</p>	<p>の結果をもとに、各クラス別に学校長はじめ学校側と学生代表3名による、授業評価分析委員会を実施しています。数値だけでは判断しにくい、授業に対する学生の要望などを聴取できる有意義な委員会です。ここで出た意見は担任教員・講師にフィードバックして、授業の改善に取り組んでいます。2020年度の学校平均は、5点満点の4.4で前年と同様の点数で終了しました。</p> <p>まだ一部に努力不足の教員が見られますが、総体としては毎年更新している授業指導ノートを基本とし教員の意識も上がり、この授業アンケートを利用して 授業の満足度向上が図られています。</p> <p>教職員の研修については、教育研修規程も整備し、各種取り組んでいるところです。また教職員研修は職業実践専門課程の認定要件でもあることから、職業教育キャリア教育財団主催の研修受講等を活用し、「教育」についての知識・技術向上は円滑に進行しています。専門知識・技術についても研修機会を活かし、より現場に近い知識技術の修得を図っています。</p> <p>教職員の研修履歴については学校長秘書室が管理し、全教員の教育機会均等・強化ポイントの把握など、定着して深耕されています。</p> <p>【今後の改善方法】</p> <p>(ア) グローバルビジネス科インターンシップ先の開拓。</p> <p>(イ) 学校関係者評価の継続実</p>	
---------------------------------	--	--

	施。 (ウ) 教職員研修の強化。特に専門知識・技術分野の強化。 【特記事項】 特になし。	
--	--	--

評価項目	適切……4、ほぼ適切……3、 やや不適切……2、不適切……1
① 教育理念に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか	④ 4 3 2 1
② 教育理念、育成人材等や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 4 3 2 1
③ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 4 3 2 1
④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 4 3 2 1
⑤ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
⑥ 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ・実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④ 4 3 2 1
⑦ 授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 4 3 2 1
⑧ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 4 3 2 1
⑨ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 4 3 2 1
⑩ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 4 3 2 1
⑪ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 4 3 2 1
⑫ 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	④ 4 3 2 1
⑬ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④ 4 3 2 1
⑭ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	④ 4 3 2 1

(4) 学修成果

評価項目	自己評価	関係者評価
<p>① 就職率の向上が図られているか</p> <p>② 資格取得率の向上が図られているか</p> <p>③ 退学率の低減が図られているか</p> <p>④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか</p> <p>⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか</p>	<p>【課題】</p> <p>就職率について、美容科は過去 17 年、全学科では過去 13 年間を通じて進路変更を除く就職希望者の 100%を達成しています。これについては、関連企業の協力や、内部でのキャリア教育推進のさらなる強化が必要です。</p> <p>美容分野の離職率はまだまだ高く推移することもある、学生に対する求人は潤沢な状況です。</p> <p>学生の将来を考える時、各企業の経営理念・方針・人事制度・定着率等を勘案した就職指導が必要で、求人情報だけの判断ではなく、インターンシップなどを活用して現場の状況をしっかりと認識させ、ミスマッチを防ぐ取り組みを行っております。</p> <p>美容室の労務環境も、働き方改革の導入によりかなり改善されてきましたが</p> <p>学生の職業意識(理想と現実の乖離に対する耐性も含めて)をいかに高く持たせるかが、最大の課題といえます。</p> <p>資格取得、特に美容師資格の完全取得が、美容科については大切な職業要件ですが、2021年3月発表の本校合格率は97.8%で、受験者数90名に対し、合格者数88名という結果です。不合格者は学科2名(新教科)で、実技は全員合格で、今後の学科(新課題教科)の強化と衛生でのミスが無い様に行ないます。</p>	<p>・今年度のパンフレットに、学生の作品を大きく掲載している。デザイン系の表彰を受けた。昨年はABCを中心に、多くの賞を受賞できた(104賞)。発想力が素晴らしい。もともと器用な学生ばかりではない中で多数の受賞は指導力の賜物。</p>

	<p>退学率、特に二年次進級時点での一年間の退学率が、2020年度につき5.7% 全体では4.2%でした。入学者191名に対して、退学者11名という結果で、これは前年に比べると5%改善しました。</p> <p>退学する主たる理由は、「人間関係による学校生活不対応」36.3%、「経済的理由」27%の脱落が大きな要因です。これには、高校を通学不要な通信制で過ごし、専修学校全日制の通学習慣をどうしても築くことができなかった者など友人関係の不適合、集団生活でのコミュニケーションに支障をきたすもの、或いは基本的な生活に支障をきたすものなどが多く見られました。</p> <p>本年度はコロナの影響で修学支援などの国からの支援もありましたが、金銭的事由での退学も多く、進級時や新学期授業料の納入に苦しむ学生が見られます。</p> <p>2020年度はコロナ過の中で学習成果として、外部コンテストが中止となり、フォトコンテストのみの参加となり、学生達にとってはコンテストやイベントなど、色々な事にチャレンジが制限された1年でした。</p> <p>参加したコンテストの結果は「ARIMINO PHOTO PRESENTATION」で【株式会社アリミノ】が主催するコンテストで、表彰者は2名と厳しい闘いでしたが見事、優秀作品賞を受賞することが出来ました。ま</p>	
--	---	--

	<p>た、ユーカリジャパン主催 フォトコンテスト 2020 では全国の理容・美容学校生、約 1000 名が出場し、WIG2種類の中から自身で選択し、カット・カラー・アレンジ・メイクを施しテーマや撮影方法も自由のため、センスが問われるコンテストですが、ユーカリ賞を受賞、そして日本最大級のヘアイベント「STYLING COLLECTION」が今年はオンライン開催され、オオムラ生は、「フォト学生アート ウィッグレディース」に 8 名が応募し、全国の美容学生の中から7名が優秀賞として選出！また 1 位から 3 位を独占しました。</p> <p>さらに 4 名の審査員賞もいただきました。コロナ過の厳しい状況の中、チャレンジ精神を忘れず入賞実績を残すことが出来たことは学生達の日頃の努力によるものです。</p> <p>キャリア教育は「生きる力」の醸成という点で、就職内定獲得という短絡思考でなく、通常のカリキュラムや、卒後後の活躍までトレースする中で、オリジナルな「キャリア教育」の視点が確立できると考えます。それぞれの業種特有の環境要因もあるので、そうした中でも自分自身のキャリアを築いていける人材にしなくてはなりません。</p> <p>離職する原因は業界の労務環境の問題もありますが、教育機関の使命としては「生きる力」を養成することに力点をおくべきだと考えます。</p> <p>従って、卒業生への卒後教育対策と、それ以前に卒業生情報の把握・組織化が課題です。</p>	
--	---	--

	<p>【今後の改善方法】</p> <p>退学率低減については、本年度に引き続き次年度も、他者との関係性を持つことに困難を感じる学生対策に重点を置き声掛けや褒めることなどを強化し、早期発見、早期治療で学生とのコミュニケーションを図ります。そして、担任教員による個別指導も徹底していきます</p> <p>特にハイパーQU で兆候のある学生に対しては毎月状況報告を行いながら面談や声かけの機会を増やします。</p> <p>心理的要因の緩和についてはカウンセラーを活用し、なるべく早く問題兆候を発見し、早期解決を図ります。</p> <p>【特記事項】</p> <p>特になし。</p>	
--	--	--

評価項目	適切……4、ほぼ適切……3、やや不適切……2、不適切……1			
⑥ 就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
⑦ 資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
⑧ 退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
⑨ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
⑩ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

(5) 学生支援

評価項目	自己評価	関係者評価
------	------	-------

<ul style="list-style-type: none"> ① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか ② 学生相談に関する体制は整備されているか ③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか ⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか ⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか ⑦ 保護者と適切に連携しているか ⑧ 卒業生への支援体制はあるか ⑨ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ⑩ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか 	<p>【課題】</p> <p>各部門の全員が目指す業界への就職活動を取り組んでまいりましたが、コロナ禍の状況が就職内定に大きく影響が出た状況です。学校全体として就職率は96%でした。</p> <p>特に影響が大きかったのはファッション分野です。卒業時に就職内定が出ていない学生に関して卒業後も就職指導を行う体制を整え、学内企業説明会への参加促進など学生への情報提供、就職指導を継続して行います。</p> <p>就職のサポートについてはクラス担任、就職企画室が連携を取り内定獲得まで細かくしつこく丁寧に学生指導を徹底し行っています。就職指導の中心はクラス担任が学生支援を行っていますが、就職企画室との連携など組織体制は整備しています。</p> <p>求人情報の提供は企業情報閲覧システム(キャリアマップ、エアジョブ等)を活用し、いつでも閲覧できるように整備しています。学内において企業ガイダンスを計画しましたが、コロナウィルスの影響によりすべて中止をいたしました。また就職活動の一環として各業界が行っているインターンシップの参加促進を強化しましたがこちらもコロナ禍で中止、延期となり学生の受講が思うように組み立てることが出来ませんでした。</p> <p>ZOOM 等のオンラインを活用した説明会などの提案により何と</p>	<p>・無理に保健室を作る必要はないのでは？保健医の常駐は結構な金額になる。それを学生に回したほうがいいのでは？</p> <p>→具合が悪くなった学生を休ませる場所がない(現在は簡易ベッドを教室で広げて使用している)のが問題なのでここを改善目的としたい。</p>
---	---	---

か新しい就職活動(情報提供)の一つのツールとして定着してきました。採用試験(面接)においてもオンライン面接を多く活用する企業様が多くなりその対応や指導方法、対策授業の組み立てなどのスキルアップが求められた1年でした。

そのための学内の通信環境の整備もより明確な課題となりました。

学生相談の体制は整備し、学生支援、進路支援、生活修学支援など様々な相談に教職員全員で対応しています。経済面の支援について学費の納入においては個別の事情に応じて柔軟に納入時の延納、分納などの対応を行いました。

本年度より給付奨学金を含む修学支援制度が新しくスタートしました。

この制度は給付奨学金、入学金授業料等の学費減免をセットで受けることが出来るもので、貸与奨学金と併用して利用する学生も多く対応に苦慮しました。

コロナ禍で提出書類の確認や不備がないかのチェックなど休校の措置の中対象者のやり取りに大変苦労したスタートとなりました。これからこの制度の利用者のための対策の強化が求められます。本校独自の大村トミ特待生制度など支援体制を整備しています。

また国からのコロナウィルス助成金等についても適時対応を行っています。

年1回、学生、教職員の健康診断を実施しています。希望者にはインフルエンザの予防接種を実施しています、本年度はコロナウィルス対策のために入
口にはサーモカメラ設置、各教室入り口での消毒、毎朝の健康管理状況確認シートを活用し予防対策、啓発活動を行っています。

近隣との連携についてはこの状況下ですべての取り組みを中止いたしました。

保護者へは、年間の授業計画の中で保護者会、三者面談を予定しておりましたがこの計画もコロナウィルスの影響で対面での開催は中止しました、コンテストなどの成果発表の学生の成長を確認、見ていただく場面もZOOM等を活用しライブ配信を行いました。

卒業生の情報収集強化が毎年の課題としてあります。就職先へ定期的に企業訪問し状況把握を予定しておりましたが、緊急事態宣言などの状況下で訪問できない状況もあり取り組みを継続して実施し情報収集を行います。

社会人ニーズをふまえた教育環境についてもコロナ禍の状況の中でインターンシップ等の対応が中止になり整備できていません。

キャリア教育・職業教育の取り組みにおいても同じく今年も整備できていない状況です。

	<p>【今後の改善方法】</p> <p>ア. 学校健康安全法に基づくコンプライアンスの強化</p> <p>イ. 教育課程編成委員会の計画的な取り組み</p> <p>ウ. 就職指導の支援体制の強化（オンラインの活用）</p> <p>エ. 卒業後の支援体制の組み立て</p>	
	<p>【特記事項】</p> <p>特になし</p>	

評価項目	適切……4、ほぼ適切……3、 やや不適切……2、不適切……1
① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	(4) 4 3 2 1
② 学生相談に関する体制は整備されているか	(4) 4 3 2 1
③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	(4) 4 3 2 1
④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 (3) 2 1
⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	(4) 4 3 2 1
⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか	4 (3) 2 1
⑦ 保護者と適切に連携しているか	(4) 4 3 2 1
⑧ 卒業生への支援体制はあるか	4 3 (2) 1
⑨ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 (3) 2 1
⑩ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 3 (2) 1

(6)教育環境

評価項目	自己評価	関係者評価
① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	<p>【課題】</p> <p>3棟ある校舎は、竣工から27年、19年、16年が経過しており、少しずつ劣化が見られます。</p> <p>校舎については、まず建物外</p>	<p>・保健室や図書室は毎年の課題</p>
② 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十		

<p>分な教育体制を整備しているか</p> <p>③ 防災に対する体制は整備されているか</p>	<p>部の補修を優先して補修工事をおこなってきましたが、内装の更新などまでは行き着いていない状況です。</p> <p>そこで 2021 年度から順次、内装のリニューアルを実施していく予定です。</p> <p>また、設備備品についても経年劣化が見られる物がありますので、予算処置も含めて更新の検討を進めていく必要があります。</p> <p>また、コロナ禍が終わった後も教育のオンライン化・デジタル化は続いていくと思われまので、それに対応した環境づくりも検討していく必要を感じます。</p> <p>防災については、法令に則った避難訓練の実施、避難マニュアル・防災計画などの充実に取り組んでいきます。</p> <p>【今後の改善方法】</p> <p>校舎の内装リニューアルを推進します。</p> <p>劣化した設備備品の更新を検討していきます。</p> <p>【特記事項】</p> <p>特になし</p>	
--	---	--

<p>評価項目</p>	<p>適切……4、ほぼ適切……3、 やや不適切……2、不適切……1</p>
<p>① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか</p>	<p>4 (3) 2 1</p>

② 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	③	2	1
③ 防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	自己評価	関係者評価
① 学生募集活動は、適正に行われているか ② 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか ③ 学納金は妥当なものとなっているか	<p>【課題】</p> <p>学生募集活動のコンプライアンスに問題はないと判断しています。</p> <p>本学園理事長が福岡県専修学校各種学校協会の副会長でもあり、特に出願時期の申し合わせについては厳守し、また同じく、特に首都圏や関西圏とのAO入試についての競合で地元専修学校が不利にならないように、福岡県の高校進路協議会の理解も得て、2017年度からは、AO入試に係る出願時期を8月1日からと定めていただきました。</p> <p>課題は、学生数確保です。適正な活動を継続しながら、学生数を確保していくことが最大の課題です。2020年度の学生募集活動の結果として、2020年4月既存学科では239名、GB科283の入学数を確保致しました。</p> <p>既存学科前年比+48名、GB科前年比+86名、全体で+134名の結果です。</p> <p>学校として、ひきつづき既存学科の募集に注力します。</p> <p>尚、目標数値には達していないものの134名の学生数を増やすことが出来た要因としては、ズームでの個別説明会や、学生・保護者との相談会にも充分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・募集方法自体はガイドラインに則って行っているが、実績が伴わない ・学生募集活動において、もっと教育成果を伝えられるのではないか ・学費に対して保護者の意見：高いが、子供が行きたいといったら出してあげたい。本人が一番やりたいことをさせるのが一番。(しかしやはり高い) ・様々な活動を行っているのでお金がかかる。 ・これだけの環境を整えているので、もっと「高い理由」を伝えては。 ・以前は学費が高い理由を積極的に広報してこなかったが、今は違う。しかし、どこの学校もいろんなコンテストをしているので「コンテスト優勝」というのは出せるが、コンテスト自体の規模やレベルが違うのが中々伝わらない ・経費は出来る限り切り詰めている

	<p>な時間を取り、納得いく入学に繋げたことが要因と言えます。</p> <p>教育成果の正確な伝達について、2016 年度期中に理事長からの指示が出され、「オオムラの強み」として全教職員から詳細な項目に亘って、レポートを出させました。これは自分達の教育成果を正確に把握し、教職員が自信を持って高校生に伝達する事を目標にし、「なぜ有力企業への就職ができるのか」「なぜ O.designs を天神で運営しているのか」「なぜ学生が清掃を行うのか」「なぜオオムラ生は行儀が良いといわれるのか」「なぜコンテストに強いのか」「なぜ他校より学費が高額なのか」など、具体的に列挙し伝えています。これを自分達の教育成果として、誇り高く伝達していきます。</p> <p>2018 年度の ML 美容室開業90周年を記念した「大村トミ先生記念奨学金」の特典は100周年に向け大村の特典として継続の予定です。</p> <p>また、大村トミ先生はどんな人？の足跡を辿ってアニメを作成しました。</p> <p>学納金については募集要項に明記し、適正なものとしています。</p> <p>【今後の改善方法】</p> <p>特になし。</p> <p>【特記事項】</p> <p>特になし。</p>	
--	---	--

評価項目	適切……4、ほぼ適切……3、 やや不適切……2、不適切……1
① 学生募集活動は、適正に行われているか	4 3 (2) 1
② 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 (3) 2 1
③ 学納金は妥当なものとなっているか	(4) 3 2 1

(8)財務

評価項目	自己評価	関係者評価
① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ③ 財務について会計監査が適正に行われているか ④ 財務情報公開の体制整備はできているか	<p>【課題】</p> <p>今年度、学校経営の改革として10年後を見据えた経営計画を立案しました。10年間の財務推移が健全になるために必要な収入(学生数)の算定を行い、その学生数が達成するための教育改革、広報改革を計画しています。もちろんそこで得た収入はしっかりと学生に還元することを明確にしております。経営、教育、広報が全て連携した学校運営を図り、10年計画の達成を目指します。</p> <p>会計監査については月度、期末ともに適正に実施しています。また、学校教育法の定める財務情報公開についても引き続き、ホームページで公開しています。</p> <p>【今後の改善方法】</p> <p>上記10年計画に沿った教育改革、広報改革のために資金の大きな支出が考えられます。直近では校舎の改装計画があげられます。資金管理、予算管理のさらなる強化、徹底が必要で</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・財務も監査を入れ、適正に運営している。 ・財務情報公開は出来ない(しない)学校も多い中、オオムラは2013年10月より公開している。 ・収益力改善のため、学生募集成功が課題。 ・地元福岡地区の入学者数が減っている。福岡市の大学進学率が上がっている

	<p>す。事業活動収支のプラスだけをみるのではなく、資金収支の前年度繰越支払資金と比較した当年度末増減の把握、減になった場合はその原因の検証が必要です。将来の収入を見越しての先行投資となる場合もあるので、それが確実に将来回収できるのか、長期計画に沿った資金管理に努めたいと考えます。</p> <p>【特記事項】</p> <p>特になし。</p>	
--	--	--

評価項目	適切……4、ほぼ適切……3、 やや不適切……2、不適切……1
① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 (3) 2 1
② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	(4) 3 2 1
③ 財務について会計監査が適正に行われているか	(4) 3 2 1
④ 財務情報公開の体制整備はできているか	(4) 3 2 1

(9) 法令等の遵守

評価項目	自己評価	関係者評価
<p>① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</p> <p>② 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか</p> <p>③ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか</p> <p>④ 自己評価結果を公開しているか</p>	<p>【課題】</p> <p>個人情報保護規程にもとづき、個人情報取り扱い規程は整備しています。この内容については、学生便覧にも明記し、周知しているところですが、今後も個人情報の更なる厳正な取り扱いに努めてまいります。</p> <p>特にコロナ禍において、急にオンライン授業などの必要に迫られた状況でしたが、より厳格な</p>	<p>・学校評価に関して、改善できていないものもあるので（保健室など）担当職員の意識を上げる</p>

	<p>情報管理・保護と、快適なオンライン環境の整備とを両立させながら、 更なる強化・改善を検討していく余地があります。</p> <p>自己評価については今年度も実施をしており、その結果をもとに学校関係者評価を開催して、その結果を WEB で公開しています。</p> <p>課題については、自己評価結果について幹部教職員が問題意識を持ち、着実に前年課題を解消すること、また更なる改善・改革を図ることにあります。全体的に教育そのものよりも、組織体制の中での様々な課題に対して改善できてないことが多く、自戒を要します。</p> <p>【今後の改善方法】</p> <p>情報管理・保護を重要視したオンライン化、システム化</p> <p>【特記事項】</p> <p>特になし。</p>	
--	---	--

評価項目	適切……4、ほぼ適切……3、 やや不適切……2、不適切……1			
① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
② 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	4	3	2	1
③ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
④ 自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	自己評価	関係者評価
<p>① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</p> <p>② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</p> <p>③ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか</p>	<p>【課題】</p> <p>地域貢献としては、例年は学生主体の自主組織による町内会イベントへの協力等を実施していましたが、2020年度はコロナの影響で町内会のイベントに参加が出来ませんでした。また地域清掃については学校全体で実施しています。</p> <p>また教科活動として特別養護老人ホーム等への出向も行えませんでした。</p> <p>公開講座等についてはかつて実施していましたが、今は実施していません。</p> <p>社会人の学び直しが、国の重要施策であることでもあり、美容別科以外の社会人の学び直しについて、検討課題です。厚生労働省から専門実践教育給付金制度として、失業状態にある既雇用保険被保険者に対して、学び直しを専修学校で行う制度が実施されています。分野の特性があって一概に実施はできませんが、今後実施に向けて検討していきます。</p> <p>また昨年まで11月に近隣感謝デーとして学校を開放し、美容についてのサービス等を実施していましたが2020年度はコロナ感染防止のため中止と致しました。尚、学園祭は2020年度は参加人数を制限して11月に実施する事が出来ました。</p> <p>【今後の改善方法】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会から良くて頂き、イベントへの協力を実施している ・社会人の学びなおしに関する制度は、中々そこまで手が回っていない ・毎年11月に近隣感謝デーを行って、シャンプーやネイルなどのサービスを行っている ・一昨年より学園祭を実施している。近隣の方にも参加いただけている。

	<p>公開講座等、地域への職業専門教科についての貢献が検討課題です。</p> <p>【特記事項】</p> <p>特になし。</p>	
--	---	--

評価項目	適切……4、ほぼ適切……3、 やや不適切……2、不適切……1
① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1
② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1
③ 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4 3 2 ①